

Five Species Newly Found Japan

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-10-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24517/00055708

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



of Herbaria (KANA, MAK, TI, TNS and TUS) for their kind permission to examine *Cardamine* specimens deposited in their Herbaria.

References

- AL-SHEHBAZ, I. A. 1988. The genera of Arabideae (Cruciferae; Brassicaceae) in the southeastern United States. *Jour. Arnold Arb.* 69: 85-166.
- BUSCH, N. A. 1939. *Dentaria* and *Cardamine*. In: KOMAROV, V. L. and BUSCH, N. A. (Eds.): *Flora SSSR*, Vol. 8, 146-170. *Botanicheskii Institut Akademii Nauk SSSR, Moskva*. (English translation by LAVOOTT, R. 1970. *Flora of the USSR*, Vol. 8, 110-129)
- CHEO, T. 1987. *Cardamine* L. In: CHEO, T. (Ed.): *Flora Reipublicae Popularis Sinicae*, Vol. 33, 184-231. Science Press, Beijing. (In Chinese)
- FERNALD, M. L. 1950. *GRAY's Manual of Botany*. 1632 pp. American Book Company, New York.
- HEDGE, I. 1968. Cruciferae-Arabideae. In: RECHINGER, K. H. (Ed.): *Flora Iranica*, no. 5, 193-218. *Akademische Druck-und Verlagsanstalt, Graz-Austria*.
- JASPARS-SCHRADER, T. W. 1982. Het onderscheid tussen *Cardamine flexuosa* WITH. en *C. hirsuta* L. *Gorteria* 10: 213-219. (cited in AL-SHEHBAZ, 1988)
- JONES, B. M. G. 1964. *Cardamine* L. In: TUTIN, T. G. et al. (Eds.): *Flora Europaea*, Vol. 1, 285-289. Cambridge University Press, Cambridge.
- JONSELL, B. 1988. Cruciferae. In: *Flora Malesiana*, ser. I, Vol. 10, part 3, 541-560. Kluwer Academic Publishers, Dordrecht.
- KHATRI, K. S. 1989. *Cardamine* L. sect. *Cardamine* (Cruciferae) in the Asian territory of Soviet Union. A morphological, anatomical and phylogenetical study with taxonomic recon-

siderations. *Feddes Repertorium* 100: 81-96.

MATSUMURA, T. 1895. *Shokubutsu-Zassho* (Miscellaneous Notes on Japanese Plants). *Bot. Mag. Tokyo* 9: 306-309 (in Japanese).

摘 要

1988年、富山県において、タネツケバナ属の1種 *Cardamine hirsuta* L. を採集した。この種は世界に広く分布する雑草性の冬緑一年草である。その後の野外調査および標本調査の結果、この種は富山県のみならず、鳥取、京都、滋賀、新潟、山形、宮城の各府県にも分布していることが明かとなった。和名はミチタネツケバナ（新称）と呼ぶことにしたい。ミチタネツケバナの生育環境は、路傍、農道、畔、河川の土手などであり、雑草性の人里植物である。国内で採集された標本はすべて最近のものであること、また、野外調査において見出された“飛び石状”の不連続な分布をもあわせて考えると、この種は近年、日本に帰化したと推定される。ミチタネツケバナは在来の雑草性の一年草であるタネツケバナ *Cardamine flexuosa* WITH. によく似ているが、花弁の長さが2-3mmであり、雄ずいが4本である点などにより明瞭に区別することができる。

なお、1895年に松村（植物学雑誌9:308）が *Cardamine hirsuta* L. にケタネツケバナの和名を与えている。しかし、この記載の元になったと思われる標本（“*Cardamine hirsuta* L.!, stamens 4! 日光地獄沢 Aug. 1, 1885.”: TI）の植物は、現地調査の結果、*Cardamine hirsuta* L. とは異なるものであることが判明した。この植物はオオバタネツケバナ *Cardamine scutata* THUNB. に近縁の溪流に生育する多年生草本であり、その正確な分類学的帰属については現在検討中である。以上の理由から、*Cardamine hirsuta* L. にケタネツケバナの和名を使用することは混乱の元となるので、新称ミチタネツケバナを与えた。(Received December 20, 1991, Revised August 20, 1992)

○日本新産植物5種（初島住彦*）Sumihiko HATUSIMA*: Five Species Newly Found in Japan

1. チョクザキミズ 本種はイラクサ科の1年草で従来台湾、南支、印度支那、ビルマ、ヒマラヤ、印度、ジャワ、比島などに知られていたが、栃木県の採集家古瀬 義氏によって1990年日本ではじめて熊本県阿蘇の蘇陽町長崎で発見された。その後阿蘇高森町在住の佐藤武之氏に阿蘇方面の調査方を依頼したところ阿蘇の外輪山方面、高森町の大分県境、小国町、矢部町、宮崎県の高千穂峡で発見された。更に大分県別府市の荒金氏は大分県直入郡萩町白水の滝と竹田市出合で発見された。今後調査が進めば九州の中央山脈に広く分布することがわかるかも知れない。本種は滝の周辺の水しぶきのあたる所、湧水地の崖などに生え一見アオミズに似ているので従来見すごされたものと思う。しかし花序は直径1~2cmの球状で長柄(2~5cm位)を有するので直に区別できる。

2. セッカヤマネギ 本種は従来欧州からモンゴル、満州、朝鮮、ウスリー、シベリア方面に知られていた

が、愛知県林業試験場の小林元男氏は1990年8月日本ではじめて北海道瀬棚町美谷で開花中のものを採集された。なお同氏によると美谷のほか須築など瀬棚町の海岸岩場に点々と群生していた由である。本種はユリ科の宿根多年草で鱗茎は円錐形で表面は繊維で被われ長さ0.5~1.5cm、葉は多数束主し偏平、長さ5~25cm、幅2~6mm、花梗は偏平で両側に翼があり、長さ20~50cm、幅2~5mm、散形花序は半球形で多数の花をつけ、小花梗は長さ1~2cm、花は紫紅色又は淡紫色。

3. ホクトガヤツリ 本種は従来台湾、南支、印度支那~印度、マレーシア、オーストラリア北部などに知られていたカヤツリグサ科の1年草であるが、名瀬市の田畑満大氏は1990年8月奄美大島の竜郷町赤尾木で日本ではじめて採集した。本種は一見オニガヤツリによく似ているが、花序の中軸は無毛で、小穂の幅がやや広いので直に区別できる。

4. トウカテンソウ 本種が日本にも産することは筆者が1963年北陸の植物12巻34頁で報告したが、当時は産地の鹿児島市伊敷のものが果たして野主か帰化品か不明であった。しかしその後その生育地をさがしつづけたが、1979年4月、当地の丸野勝敏氏が伊敷町の街はずれで河頭と称する所と接する所にある生徒の家庭訪問に行く途中の山地の路傍に群生するのを発見したので、はじめてその野生地がわかった。その後筆者は1986年鹿児島市から約40km離れた薩摩郡宮之城町山崎の川岸林内で群生しているのを発見し、1991年にはここから南西方向約8kmの桶脇町塔之原で発見した。以上の分布から考え今後薩摩国の中部方面に分布区域が広がる事が予想される。上記のことから本種は日本にも野生していることがわかる。

5. チシマミズハコベ 本種は欧州、中央アジア、シベリア、ウスリー、満州、樺太、北千島、グリーンランド、北米などに知られていたが、今年、角田・滝田両氏は北海道の太郎湖に産することを報告している(植物分類地理43巻75頁)が、古瀬 義氏は1991年5月30日埼玉県桶川市川口谷薬師堂で採集されている。本種は一見ミズマツバに似ているが葉は3~4個の輪生でなく対生であるので直に区別できる。注意すれば今後関東地方の他の場所で発見される可能性が高い。

1. *Lecanthus peduncularis* (ROYLE) WEDD. in DC., Prodr. 16² (1869) 164; MERR., Enum. Philip. Fl. Pl. 2 (1923) 77; BACKER, Fl. Jav. 2 (1965) 41; HARA *et al.*, Enum. Flow. Pl. Nepal 3 (1982) 204; C.Y.CHENG, Fl. Xizang 1 (1983) 546, f. 175. 1-3; Ann., Icon. Corm. Sin. 1 (1985) 512, f. 1023

Lecanthus sasakii HAY., Icon. 6 (1916) 52; T. S. LIU & HUANG in Fl. Taiwan 2 (1976) 196, Pl. 263, syn. nov.

Hab. Kyusyu: Kumamoto Pref.: Nagasaki, Soyô-machi, Aso-gun, M.FURUSE 55459, 55460, Aug.25, 1990; T.SATO, Aug.27,1991; Oita Pref.: Deai, Takeda city, M.ARAKANE 31850, Nov.10,1991; Shirozu-notaki, Hagi-machi, Naori-gun, M.ARAKANE 31418, Sept.1,1991; Miyazaki Pref.: Takachiho-kyo, T. SATO, Sept.20,1991

Distr. Taiwan, China to Himalaya, India, Indo-china, Java & Philippines.

2. *Allium senescens* L., Sp. Pl. (1753) 299; KITAG., Neo-Lineamenta Fl. Manch. (1979) 168

Hab. Hokkaido: Mitani, Setana-machi, Setana-gun, M.KOBAYASHI, Aug.31,1990.

Distr. Europe to continental N.E.Asia.

3. *Cyperus procerus* ROTTB.- Descr. Icon. Rar. Nov. Pl. (1773) 29, pl. 5, f. 3; KERN, Fl. Malesiana, Ser. 1, Vol. 7, part 3 (1974) 611; T.KOYAMA in Fl. Taiwan 5 (1978) 268

Hab. Ryukyus: Akaogi, Tatsugo-cho, Amami-ohshima, M.TABATA, Aug.1990.

Distr. Taiwan, S.China to India, Malaysia & N.Australia.

4. *Nanoenide pilosa* MIGO in Trans. Nat. Hist. Soc. Formos. 26 (1934) 386; HATUSIMA in Journ. Geobot. 12 (1963) 34, f. 1; 江蘇植物誌下 (1982) 81, f. 845

Hab. Kagoshima Pref.: Near Kogashira, Ishiki-cho, Kagoshima city, HATUSIMA 41993, May 10, 1987; YAMAZAKI, Miyanojo-cho, HATUSIMA 41911, Dec. 7, 1986; Tôno-haru, Hiwaki-cho, HATUSIMA 45465, Oct.28,1991

Distr. C.China and Indio-china.

5. *Callitriche hermaphroditica* L., Cent. 1 Pl. (1775) 31; HARA, Enum. Sperm. Jap. 3 (1954) 59; KITAG., l.c. (1979) 11

Hab. Hondo: Yakushido, Kawaguchi-dani, Okegawa city, Saitama. Pref.

Distr. Europe, C.Asia, Siberia, Ussuri, Manchuria, Sachalin, Kuriles, Greenland & N.America.

(* 〒892 鹿児島市吉野町2635-3 Yoshinomachi 2635-3, Kagoshima 892)